



趣味を仕事にするからこそ 心は熱く、頭はクールに

さく、お金がかかる時期だったので、もちろん本業第一。それがイベントに出展を重ねるうちに固定ファンが付くようになり、徐々に人気が出てきたのです。

起業への思いが高まる中、冷静に時期を待つ日々

ある程度の年齢になると、会社の中で、上の役職を目指すなど分かれ道が来ますよね。私の場合、造型という自分のやりたいことを見つけていたので、どうしてもそちらに行きたい気持ちが強くなりました。

できるだけ早くスタートを切りたいだったので、55歳での起業を目標に据え、それまでに子どもの学費確保や住宅ローンを払い終えるように努めました。実際には54歳のときに会社で早期退職者募集が出たのでそれに応募し、退職金の割増分で1年間の準備期間を設けることができました。

教える!先輩起業家

続けるためのポイントは?

- ✓ 作りたいものを作るだけでなく市場のニーズにも目を向けよう。
- ✓ イベントへの出展やSNSの更新はとにかく続けて固定ファンを獲得すること。
- ✓ 事業を継続していくためにも、スケジュールや健康管理はしっかりと。

始めた頃の1枚!

会社員と二足のわらじ時代、生まれ故郷の福島県・矢吹町に作品を寄贈したことも。



造型工房キトラ

代表・造型師
おか たけし

岡 健之さん (58)

55	54	42	40	略歴(歳)
起業	準備 早期退職し起業	出展 展示会へ初の単独 し出す	息子の宿題を手伝 に作った怪獣がプロ に認められ会社員 と造型師の二足の わらじ生活に	メーカーにて製品の 企画・開発に携わる 息子の宿題を手伝 に作った怪獣がプロ に認められ会社員 と造型師の二足の わらじ生活に

造型教室の様子



10年かけ
しっかり地盤を
固めて起業

**息子の宿題をきっかけに
思ってもみない特技を発見**

造型の楽しさを知ったのは、息子の夏休みの宿題を手伝ったことがきっかけ。粘土で作った怪獣が学校で評判になり、プロにも見てもらったら「センスあるね」と。その方のブースを間借りして、イベントで展示してもらえ、イベントになると、そこでも手応えがあつて……。そこからほとんど、のめり込み、15年間ほど、会社員と造型師の二足のわらじを続けることになりました。始めた頃は、また子どもが小

さまざまな場面で生きる
会社員としての経験

好きな造型で食べていこうと思ったときに、会社員の経験はそこかしこで生きてきます。どんな作品にニーズがあるのかといった市場調査・企画から、いつまでに何を作るといったスケジュール管理、キャラクターの著作権元とのやり取りなど、ビジネスの視点を持つてやれることが私の大きな強みです。

造型教室を開催し、後進を
育成することも大きな喜び

東日本大震災後、出身地の福島県で子ども向けのワー

クシヨップを行ったことをきっかけに、今は上尾市自然学習館などで造型教室も開催しています。年に2回、全国の造型師が一堂に会すイベントがあるのですが、かつて私がそうしてもらったように、今は私の展示スペースに生徒の作品も飾り、成長を見守るのも大きな喜びです。人生で本当にやりたいことが見つかり、それを仕事にできるのは宝くじに当たるようなもの。できるだけ長く作品を作り、後進を育てるためにも、毎日1〜2時間のジム通いで体力作りすることも欠かすことなく続けています!

起業概要

起業/2017年 起業年齢/55歳
起業資金/約100万円
業務内容/模型作品の制作・販売
所在地/上尾市
HP/<http://kitora-zoukei.com/>

- 月: 工房にて作品制作
- 火: //
- 水: 主催するイベントの打ち合わせ・準備
- 木: 作品制作 造型仲間と飲み会
- 金: 工房にて作品制作
- 土: 造型教室にて講師
- 日: 休



細部まで作り込み...

